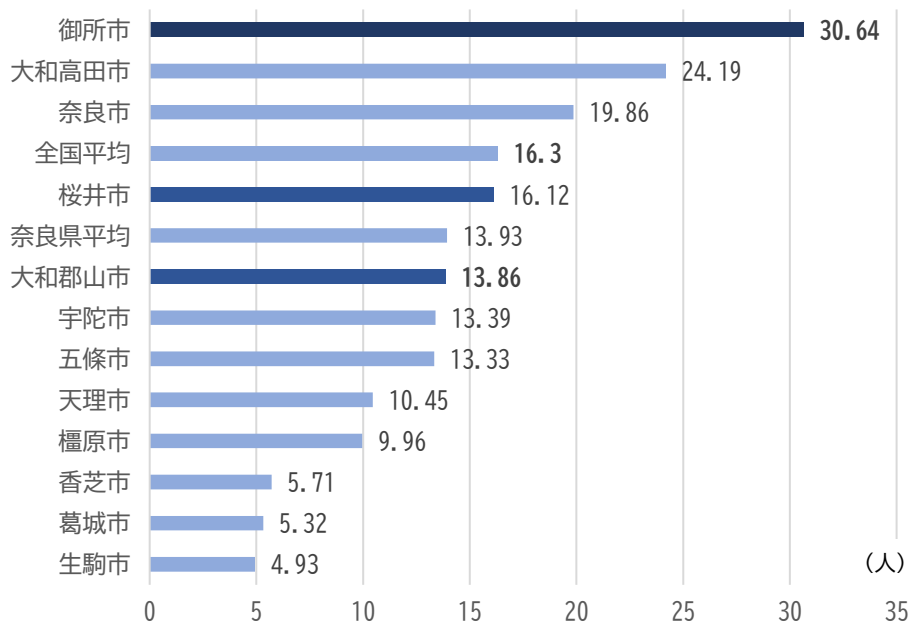


V. 福祉と医療

統計からみた御所市のすがた 令和7年度改訂版

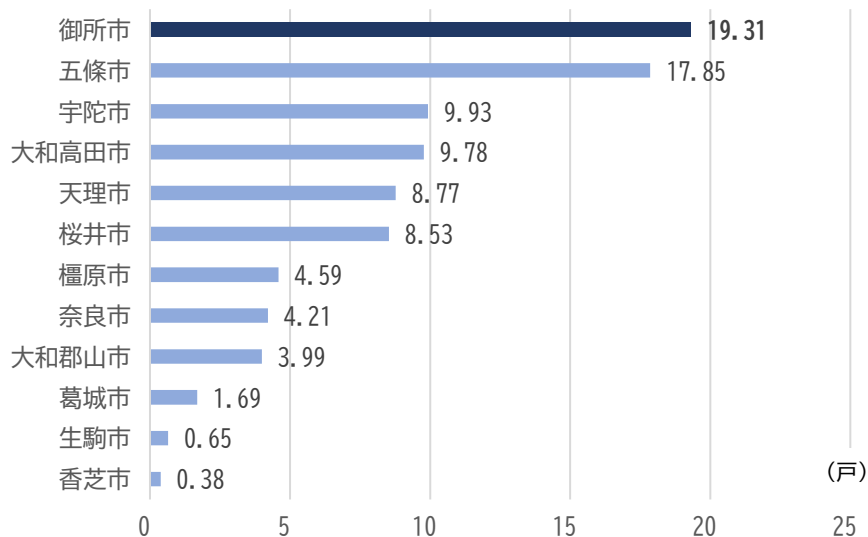
1. 福祉

■人口千人当たり被生活保護者数（令和5年度）



出典：御所市福祉課保有資料を基に作成

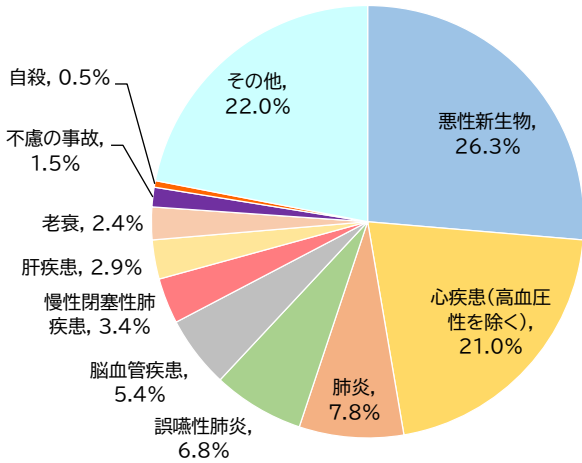
■人口千人当たり市営住宅戸数（令和4年度）



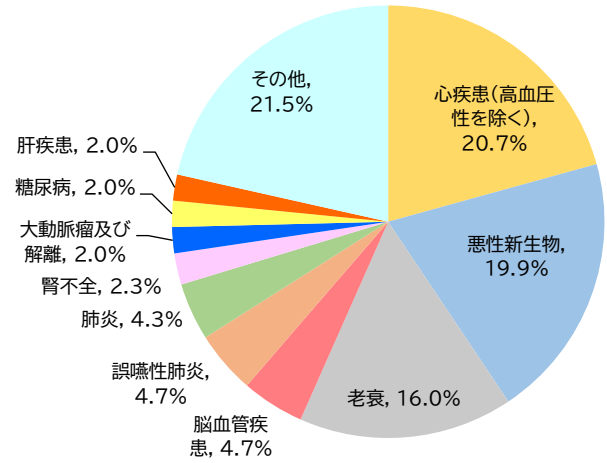
出典：御所市住宅課保有資料を基に作成

2. 医療・健康

■男性主要死因割合（令和5年）

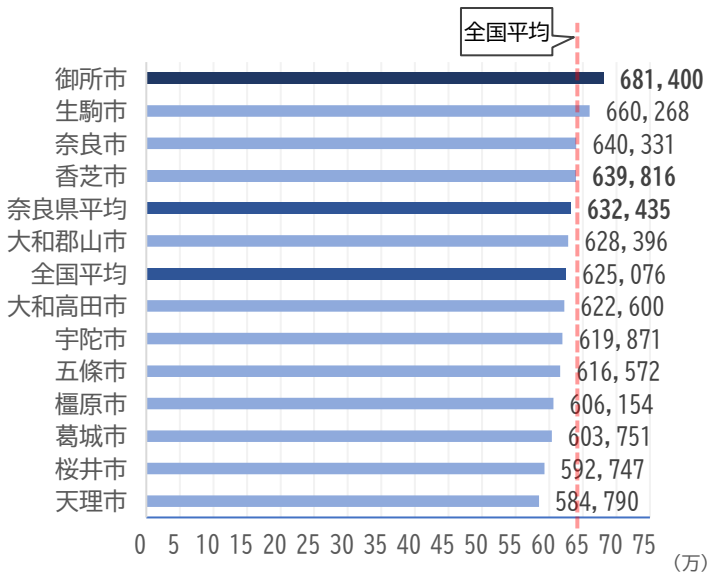


■女性主要死因割合（令和5年）

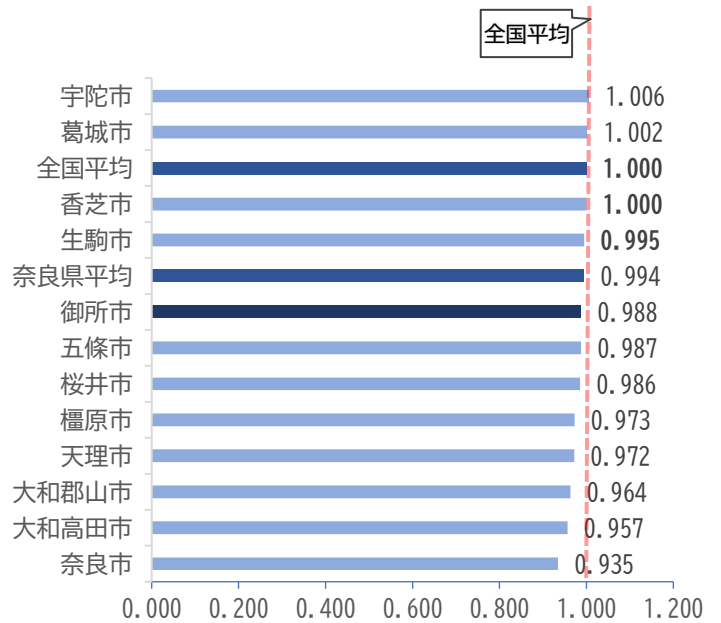


出典：奈良県地域医療連携課『人口動態統計』を基に作成

■一人当たり実績医療費（令和4年度）



■一人当たり年齢調整後医療費（地域差指数）（令和4年度）

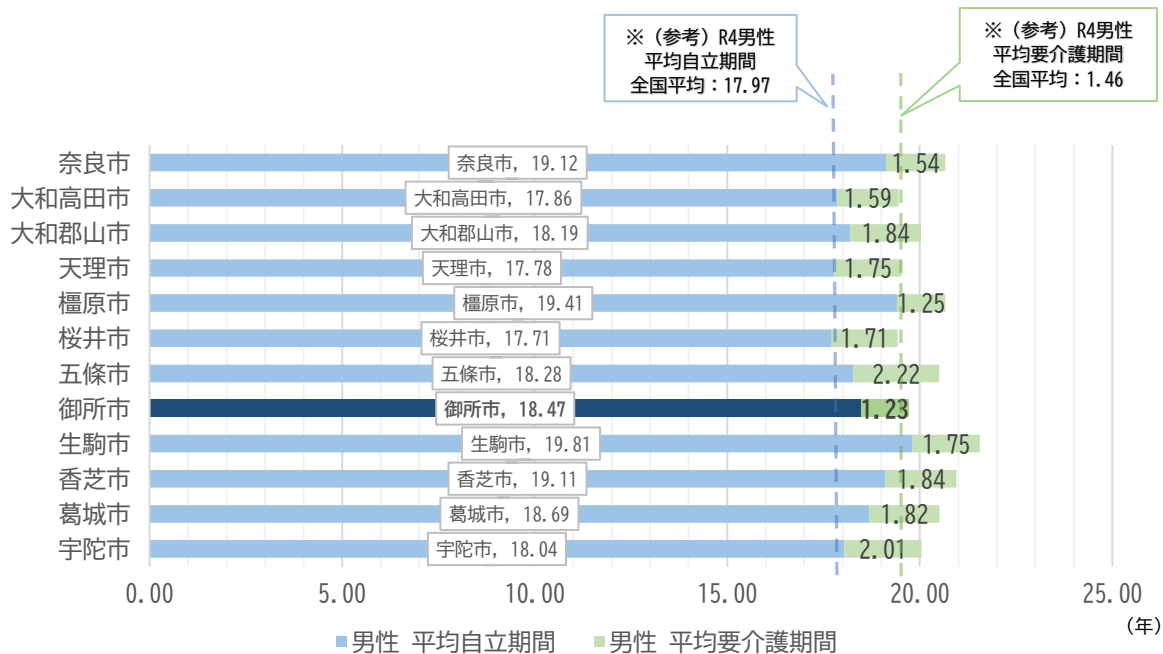


出典：厚生労働省『医療費の地域差分析』を基に作成

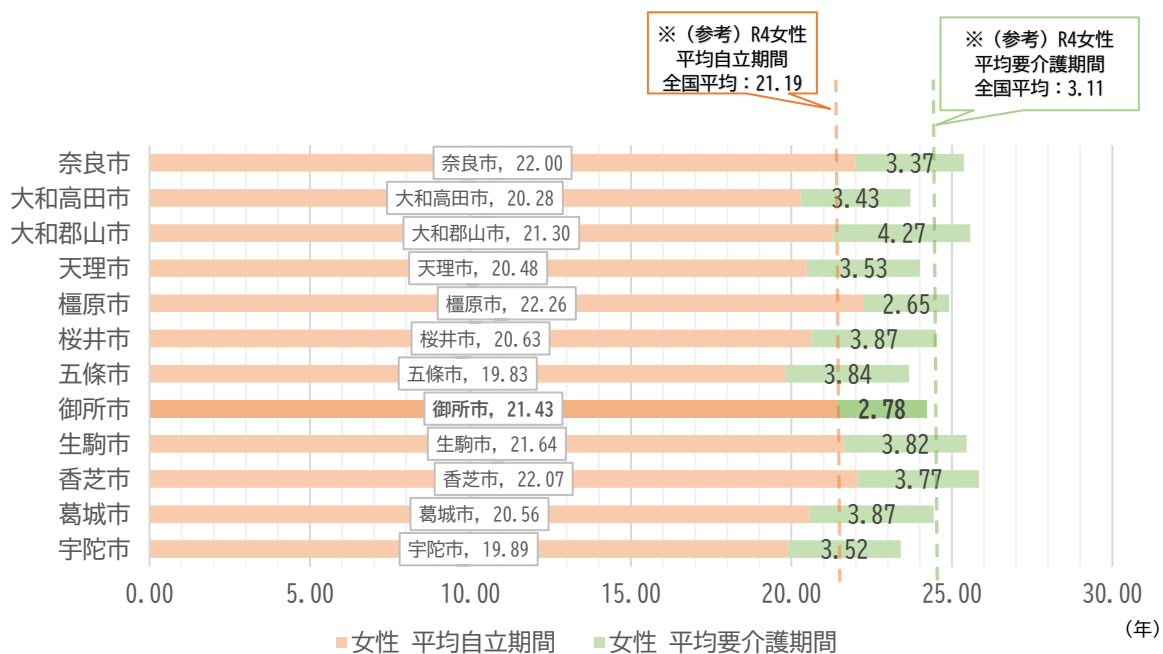
2. 医療・健康

■市町村別 健康寿命（65歳平均自立期間）（R3-R5）

【男性】



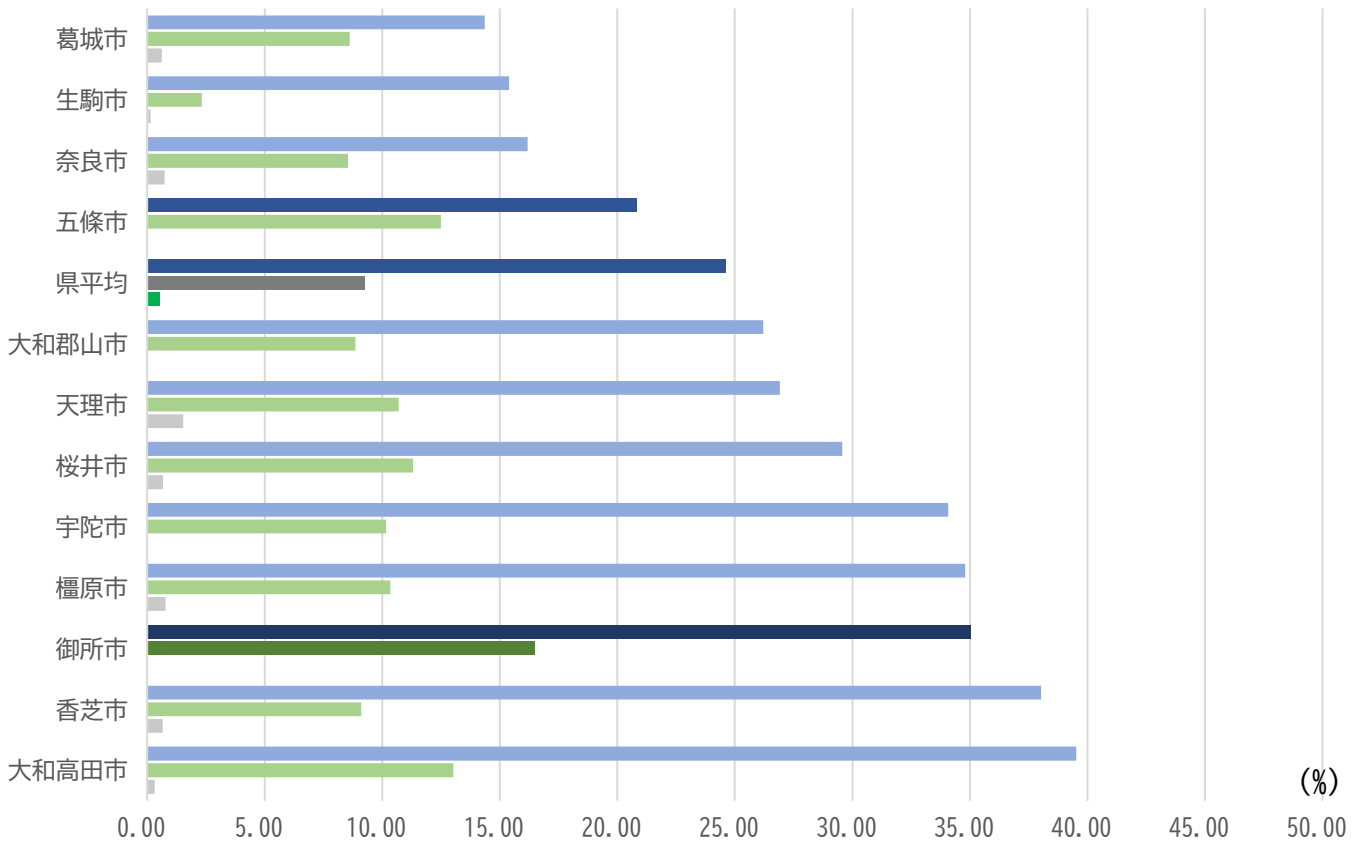
【女性】



出典：奈良県健康推進課『奈良県民の健康寿命』を基に作成

2. 医療・健康

■むし歯有病率（令和5年度、ただし12歳児は令和4年度）



■ 12歳児 ■ 3歳児 ■ 1歳6か月

出典：奈良県健康推進課『歯科口腔保健データ』を基に作成

データから読み取る

一人当たり実績医療費は年齢構成比の違いがあることから、比較には注意しなければなりません。年齢構成の相違による分を補正した地域差指数をみると、全国平均をわずかに下回っています。

健康寿命については、平均自立期間は男女ともに全国平均を上回り、平均要介護期間は男女ともに全国平均を下回っています。特に男女とも、平均要介護期間が短い特徴があります。

いずれの年齢区分においてもむし歯有病率が高く、3歳児は12歳児で一番高くなっています。口内環境の悪化は重大な病気につながるリスクがあるので、自治体によって取り組みがどのように違うのか、検証し改善することが必要です。